

平成31年2月8日

各位

会社名 株式会社海帆  
 代表者名 代表取締役社長 久田 敏貴  
 (コード番号: 3133 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役管理本部長 小島 聡  
 (TEL: 052-586-2666)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年11月9日に発表いたしました平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の通期の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期通期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の業績予想数値の修正  
 （連結）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,071	百万円 △124	百万円 △126	百万円 △101	円 銭 △28.16
今回修正予想（B）	5,004	△181	△183	△304	△84.92
増減額（B－A）	△66	△56	△57	△203	
増減率（％）	△1.32	－	－	－	
（参考）前期実績 （平成30年3月期）	5,840	△6	△9	△137	△38.31

（個別）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,016	百万円 △114	百万円 △89	円 銭 △25.05
今回修正予想（B）	4,946	△172	△293	△81.71
増減額（B－A）	△69	△58	△203	
増減率（％）	△1.38	－	－	
（参考）前期実績 （平成30年3月期）	5,768	1	△129	△36.19

## 2. 修正の理由

### (連結)

当第3四半期連結累計期間における外食産業は、食材価格の高騰、人材確保の競争激化に加え、引き続き消費者の節約志向により、経営環境は厳しさを増しております。当社グループにおきましては、これらに対応し安定的な収益基盤を確立するため、戦略的な閉店及び業態変更により業績不振店舗の強化見直しを図ってまいりました。

しかしながら、外部環境は依然として厳しく、対応の遅れもあり、売上高及び利益につきまして、前回発表予想を下回る見込みとなりました。また、近年の業績不振店舗の回復見込みが遅れていることから、当第3四半期連結会計期間末において繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額を計上することとし、利益の更なる押下げ要因となりました。

これらの結果、通期の業績予想を修正することいたしました。

### (個別)

当第3四半期累計期間におきましては、上記と同じ理由により、売上高及び利益につきまして、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

通期の業績につきましても、上記と同じ理由により、売上高及び利益が前回発表予想を下回る見込みであります。

株主の皆様には、ご心配、ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。業績回復に向け、全力で取り組んでおりますので、引き続き、ご支援賜れましたら幸いです。

(注) 本資料における業績予想は、発表日時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって業績予想と異なる場合があります。

以 上